慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	吉田正樹教授退任記念号発刊にあたって
Sub Title	
Author	清家, 篤(Seike, Atsushi)
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2009
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.51, No.6 (2009. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	吉田正樹教授退任記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20090200--003

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

吉田正樹教授退任記念号発刊にあたって

吉田正樹教授は2008年３月31日をもって慶應義塾大学を定年退職されました。これを記念して『三田商学研究』では，吉田正樹教授退任記念号を発刊することとなりました。発刊に際し，吉田教授の御紹介と御挨拶を述べさせて頂きます。

吉田正樹教授は，1965年３月に慶應義塾大学商学部を卒業され，同年４月，商学研究科修士課程に進学，1970年３月に博士課程を単位取得退学されました。その後，1972年４月に商学部助手に就任され，1975年４月には助教授，1988年４月に教授に昇進され，2008年３月に定年退職されるまで36年にわたり商学部と慶應義塾に貢献されまた。

この間，長年にわたって日本および外国経営史の研究に従事され，多くの業績をあげてこられました。とりわけ，学会誌『経営史学』に発表されました「生産管理の経営史」（1971年），さらには本誌『三田商学研究』に発表されました「電機機械産業の形成と集中化について――1880年代のアメリカ電機生産者の誕生から寡占化まで――」（1985年），「1930年代の電機企業による重工業企業集団形成と軍需進出――小平波平と鮎川義介の戦時経済下の企業者行動と戦略――」（1996年）などをはじめとする日米の電機産業企業を対象とした一連の実証研究は，吉田教授のライフワークともいえる研究であり，この分野における顕著な成果として学会でも高く評価されています。また，日本経営史の重要なテーマである財閥・企業集団の研究においても『三井コンツェルン』（新評論，1970年，共著）などの著書を発表されていることでも有名です。

吉田教授は教育の面でも，商学部に多大な貢献をしておられまして，三田では「経営史」「日本経営史」「アメリカ経営史」などの科目を長年にわたり担当され，ご自身の研究成果にもとづいた情報量豊富で誠実な講義は，多くの受講生を魅了してまいりました。また日吉では，主に新入生を対象とした「経済史」の講義を受けもたれ，日本経済の現状を長いタイムスパンの中に位置づけ相対化する視点の重要性を教示されました。さらに，三田の研究会（ゼミナール）でも，多くの学生を育成され，その指導を受けた卒業生たちは社会の各分野においてそれぞれ活躍しておられます。

さらに学部内，学内の役職として，学生運動の残滓の残る時代の学生部副部長，そして人事委員会幹事などをおつとめになり，大学，学部運営にも大きく貢献されました。

よく知っておられる方は御存知のとおり，吉田教授は権威主義的なところが微塵も無く，風貌もとても若々しく，とても親しみやすい御人柄です。吉田さんも当方も研究室にいつもいるタイプなので，商学会や廊下などで会うたびに，会話を交わすのが，楽しみでした。そのような意味でも吉田さんは，民主的で自由な商学部の良い伝統を象徴するような存在でした。

このような学部と慶應義塾に対する御功績に対して商学部は，2008年１月の教授会において満場一致で，吉田正樹教授に名誉教授の称号を差し上げることを決定しました。定年によって退職されました後も，どうか生涯現役で御研究にはげまれ，また後進のわれわれを御指導御鞭撻下さいますようお願い申し上げ，学部長からの御挨拶とさせて頂きます。

平成20年12月

商学部長　清　家　　篤